

NO.	49			講座形式	講義型	
講座名	アメンボ忍者と工作					
分野	メインの分野	地球温暖化防止	リサイクル・廃棄物	生物多様性・自然保護	森林保全・緑化	大気環境保全
	生物多様性・自然保護			○		
	水環境保全	化学物質対策	環境全般	地域環境管理	消費・生活	その他
対象者	幼稚園・保育園	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学生	高校生	大学生
	○	○	○			
	一般	企業・事業所	対象 その他			
参加可能人数	10名～40名		実施時間	90分		
目的	身近な小さな生き物に気づき興味を持てもらう。					
プログラム内容	【導入】 わかりやすく生物の分類を説明 2界説(動物界、植物界)から5界説(・・原生生物界、細菌界、菌界) 【講義】アメンボとの出会い 「アメンボは忍者さん」(カモメの水兵さんの替え歌)をみんなで歌う アメンボの体のしくみなど歌詞の説明 アメンボはカメムシのなかま、アメンボの名前の由来 俳句に詠まれたアメンボ、アメンボの方言など ・絵本「かえるのじいさまとあめんぼおはな」 ・創作「アメンボ太郎」の話 【アメンボ工作】 モールとセルロイド板でアメンボを作って水に浮かべる(有料) 【ふりかえりまとめ】 ※年齢に応じて教材あり「A2 版写真(ミウラ折)」にて説明					
申込者側で用意していただくもの	マグネットボード、机、椅子、アメンボを浮かべるプールなど				申込者の材料費等負担	100円/1人
条件・注意点						
代表講師氏名	庭本 英夫					
代表講師経歴	1944 年生まれ ■資格： ■専門分野：昆虫の生態系に関する観察と調査 ■活動内容：神戸市グリーンパトロール員、ナチュラルウォッチャーリーダー、環境省 自然公園指導員、天井川を美しくする会、神戸のアメンボを守ろう会					
その他スタッフ						
メッセージ	アメンボは川や池にいる身近な昆虫であるが、これらの場所は危険として近づけない。公園の池は埋められ、残った池には水が抜かれている。街の子どもたちはアメンボに出会うことが少なくなったが、生き物のたくましさを伝えたい。					